



FIH OLYMPIC
QUALIFIER
KAKAMIGAHARA 2012



オリンピック予選 【女子】

開催日時 4 月 29 日 (日) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 ----- 13:30	チリ (世界ランク17位)	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$	0	日本 (世界ランク9位)
第2試合 ----- 16:00	オーストリア (世界ランク29位)	0	$\begin{pmatrix} 0 & - & 3 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$	5	アゼルバイジャン (世界ランク15位)
第3試合 ----- 18:30	ベラルーシ (世界ランク22位)	2	$\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$	2	マレーシア (世界ランク23位)

【各試合の結果・詳細】

第1試合

チリ 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 日本

勝点 4
1 勝 1 分 1 敗

勝点 7
2 勝 1 分 0 敗

<得点>

チリ :
日本 :

<戦評>

チリのセンターパスにより前半戦が開始された。序盤から日本が優位に試合を進める。日本は巧みなパスワークから、果敢に攻め込むが決定力を欠き、得点できない。30分日本はチリの反則を誘い、この試合初のPCを獲得する。#6村上のドラッグからタッチを狙うが、惜しくも得点にはならない。一方チリはGK#1SUHULERを中心とした守りからの速攻で攻撃を仕掛けるも、日本の堅い守備によりサークルインできない。その後も先制したい日本は、ゴールを狙うもチャンスを活かすことができず、0-0で前半戦を折り返した。

後半戦が開始されると、開始早々日本は36分にPCを獲得。パスがずれるも、ストッパー#5中川が強引にシュートを放つ。しかし、ゴールを割ることができない。59分日本は、早いリスタートから#12柴田がリバースでセンターリングを打つと、#8山本がダイレクトで合わせるが惜しくもゴールを外れる。1点が欲しい日本はその後、#5中川、#11藤尾、#12柴田らを中心に何度も攻め込むが、チリの体を張ったDFの前に決めきることができない。試合は0-0で引き分けのまま終了した。

テクニカルオフィサー	SHIN Jung Hee	アンパイア	HUDSON Kelly
ジャッジ	KING Elizabeth		SANDERS Hannah
	FENNER Juriah		

第2試合

オーストリア 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 3 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$ 5 アゼルバイジャン

勝点 0
0 勝 0 分 3 敗

勝点 9
3 勝 0 分 0 敗

<得点>

オーストリア :

アゼルバイジャン : 9分 #19 MURADI, 18分 #2MAMMADOVA, 32分 #11MAMMADOVA
49分 #24MATJUSAITYTE, 66分 #17HAN

<戦評>

オーストリアのセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームパスを繋ぎ攻撃を仕掛ける。9分アゼルバイジャンは、前線でボールカットをし、ゴール前の混戦から#19MURADIが押し込み先制点を挙げる。アゼルバイジャンは19分にも、#8KYIANYPHENKOがシュートし、こぼれたボールを#2MAMMADOVAが決め追加点を挙げる。さらに、20分にもPCを獲得する。しかし、オーストリアGK#16STIEFELMEYERの好セーブにより、得点することができない。得点が欲しいオーストリアは27分にPCを獲得するが、惜しくもシュートが外れ、得点にはならない。31分アゼルバイジャンは、PCを獲得する。#9ALIYEVAのフリックシュートに#11MAMMADOVAがあわせ、タッチシュートが決まる。3-0でアゼルバイジャンがリードしたまま前半戦を折り返した。

後半戦が開始され、一進一退の攻防が続くが両チームチャンスをつくることができず、試合は硬直状態となる。試合が動いたのは48分。アゼルバイジャンは#17HANのヒットパスを#24MATJUSAITYTEがタッチシュートで決めた。オーストリアは57分PCを獲得。一度GKにはじかれるが、こぼれたボールをシュート。しかしボールはゴールを捉えることができず、チャンスをものにすることができない。65分にもPCを獲得するが、アゼルバイジャンのGK#32NURIYEVAが好セーブを見せ、得点には繋がらない。66分アゼルバイジャンは、サークルに打ち込んだボールを#2MAMMADOVAがタッチシュートをするが決まらない。しかし、そのこぼれたボールを#17HANが押し込み、5点目を挙げる。そのまま試合は終了し5-0で

テクニカルオフィサー	SHIN Jung Hee	アンパイア	SEYMOUR Kylie
ジャッジ	FENNER Juriah		BRUNEKREEF Caroline
	KING Elizabeth		

第3試合

ベラルーシ 2 $\begin{pmatrix} 2 & -0 \\ 0 & -2 \end{pmatrix}$ 2 マレーシア

勝点 4
1 勝 1 分 1 敗

勝点 1
0 勝 1 分 2 敗

<得点>

ベラルーシ : 17分 #14SILITSKAYA、27分 #7HALINOUSKAYA

マレーシア : 41分 #17OTHMAN、68分 #7RUHANI

<戦評>

マレーシアのセンターパスにより試合が開始された。ベラルーシは中盤からの細かいパスワークでサークルに入るが、マレーシアの厳しいチェックによりなかなかシュートを打つことができない。一方マレーシアは、自陣からロングパスを繋ぎ、速攻するが得点には繋がらない。17分ベラルーシ #7HALINOUSKAYAが単独でドリブルでサークルに入り、ヒットで#14SILITSKAYAにあわせタッチシュートが決まり、先制点を挙げる。その後もベラルーシは攻め、24分、27分とPCを獲得する。#7HALINOUSKAYAが強烈なヒットシュートで追加点を挙げる。マレーシアも30分、31分と立て続けにPCを獲得する。バリエーションからタッチシュートを決めようとするが、ベラルーシGK#1MIKANOVICHの好セーブにより阻まれる。前半はそのまま終了し、2-0で折り返す。

後半戦に入りペースを掴んだのはマレーシア。36分にPCを獲得し、シュートを狙うがDFに阻止される。41分、マレーシアは#5MDALIがサークルトップから左に流れ、リバースシュートを打ち、そのリバウンドに#17OTHMANが素早く反応し、一点を返す。一方ベラルーシも素早いパス回しからPCを獲得。追加点を挙げ引き離そうとするが、マレーシアGK#1YAHYAの好セーブにより点を挙げる事ができない。その後はマレーシアが積極的に攻め、68分にPCを獲得。#7RUHANIのスイープシュートがストレートに決

テクニカルオフィサー	FENNER Juriah	アンパイア	JUDEFIND Stephanie
ジャッジ	KING Elizabeth		CHURCH Ameber
	SHIN Jung Hee		

明日の組み合わせ【男子】

第1試合 13:30	オーストリア (世界ランク21位)	VS	チェコ (世界ランク23位)
第2試合 16:00	ブラジル (世界ランク42位)	VS	日本 (世界ランク15位)
第3試合 18:30	中国 (世界ランク17位)	VS	南アフリカ (世界ランク12位)